

報告事項	2 (2) 子どものネット依存症対策について
取組課題	
<p>子どもの健全な育成環境を整えていくため、小学生、中学生、高校生を対象としたネット依存の実態把握やネット依存から子どもを守るための効果的な取組について、四縣市共同で研究や調査を行うとともに、ネット依存症の診断基準の作成など国に要望する。</p>	
実施状況	
<p>1 取組成果</p>	
<p>平成 25 年 12 月から、県・横浜市・川崎市・相模原市による検討を行い、次の取組を行った。</p>	
<p>① 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターのネット依存治療部門の医師やネット分野の専門家を招き、ネット依存に係る現状や課題などを把握するとともに、各縣市の取組状況等について意見交換及び情報共有等を行った。</p> <p>② 子どもたちのネット利用に係る実態調査を四縣市共同で実施した。</p>	
【別紙 1 (調査結果)】	
<p>◇調査サンプル数 13,251 人 (小学生 3,980 人、中学生 6,506 人、高校生 2,765 人)</p> <p>◇結果概要</p> <p>①ほとんどの子ども (96.6%) がインターネットに接続可能な端末を所持</p> <p>②利用ルールを決めていない子ども(47.9%) に長時間ネット利用の傾向</p> <p>③長時間利用の子どもに、朝食を食べない、睡眠時間の短い傾向</p> <p>④困ったときに相談する相手がいない、相談する勇気がない子どもが 5.9%</p> <p>⑤93.7%の子どもはネットの危険性を知っているが、フィルタリングの利用率は 58.8%</p> <p>◇ネット依存から子どもを守るための効果的な取組</p> <p>①親子の良好なコミュニケーションづくりと生活習慣改善への啓発</p> <p>②インターネット利用のルールづくりとその啓発</p> <p>③インターネットだけに居場所を求めない工夫や子どもが相談しやすい環境づくり</p> <p>④保護者と子どもへの継続的な情報リテラシーの啓発</p>	
<p>③ ネット依存症の診断基準の早期策定、及び有効なネット依存予防策の提示について、国への要望をまとめた。</p>	
【別紙 2 (要望書)】	
<p>④ 子どもたちのネット利用に係る実態調査等を踏まえ、ネット依存から子どもを守るための効果的な対策について意見交換等を行い、有効な取組の視点などを共有した。</p>	
<p>2 今後の課題</p>	
<p>子どもたちのネット利用に係る実態調査の結果から見えてきた実態や課題等を踏まえ、ネット依存の予防に向けた効果的な対策について、引き続き情報共有を図りながら、各縣市において取り組んでいく。</p>	